明治廿七年一月一日印刷
明治廿七年一月五日發行

婦人衛生雜誌

第五拾號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第五拾號
目次

講演

●一般療法　醫學士　三浦謹之助君

寄書

◉少年子弟の衛生に就て（承前）　醫學士　山根正次君
◉婦人須知　醫學士　古賀鶴所君（前號の續）
○體重秤量○小兒の成育○嬰兒の衣服○嬰兒の浴法
◉浴場行日誌（承前）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉アイヌノ衣食住◉肺病は煙管より傳染す◉入毛の注意◉地下バリテリヤの有無◉生きたる人の胃に穴を明けて消化作用を見る◉二疋の蜂にて擬す◉世界の大男◉金人種と銀人種◉蒿灰繃帶と消毒繃帶◉窒扶私新治療法◉咳の防き方◉藥となるへき野菜◉衛生と經濟◉新年賀詞◉稀有なる長壽者◉百歲の壽筵◉長壽六兄弟◉長壽鄉◉鶴壽會◉佛國の長壽者◉諸會景況◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第四拾九號
目次

講演

●實扶垤里亞の話　ドクトル　金杉英五郎君

寄書

◉少年子弟の衛生に就て　醫學士　山根正次君（前号の續）
◉婦人須知
○嬰兒唾液と看護　醫學士　賀古鶴所君（前號の續）
◉浴場行日誌　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉古籾の試驗成績◉鯛田麩の分析試驗◉出產の期日を豫知する法◉卷煙草の注意◉鼻毛剃去の害◉生命の危險◉水道工事◉小兒膣の黴菌◉鰻の毒◉大陰囊の切斷◉小兒の食物の注意◉九州地方味噌釀造法◉生玉子の味噌漬◉野菜物の商況◉諸會の景況◉廣告數件

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第五拾號
（明治二十七年一月五日發行）

講演

一般療法

（九月十六日富士見倶樂部大日本婦人衛生會席上）

醫學士　三浦謹之助講演

今日御話し致しませうと思ひますのは、醫家の一般療法と名くる事であります。元來療治の方法には二通り御座いまして、藥を用ゐて療治する則ち化學的の作用で病を療します、之をば化學的の療治法と申して宜しい。モツ一ツは一般療法と申して理學的の作用、例へば力とか越歴とか或は氣候溫度光線とかを用ゐて病を療します。ソレであるから一般療法に屬しまする療治の方法と云ふものは色々御座います。則ち此頃流行致しまする海水浴、或は溫泉旅行なども之に屬します。今日は其事に就て聊か御話し致します。

第一、、、海水浴　海水浴と云ふものはどう云ふ作用を爲すものであるか、海水の作用は何であるかと考へて見れば、先づ第一に海水は幾ら暖き時でも人間の体溫よりは冷たい。其冷たき刺戟が一ツの作用。其外海水には食鹽ばかりでなく種々ある鹽を含んで居る其鹽が人体の皮膚を刺戟する。其次には波浪が矢張刺戟となる。サウして此の寒冷と鹽と波動との三ツが人間の身体に作用して好き結果を現します。則ち新陳代謝と云ふて古きものが體から去ツて新しきものが這入ると云ふ、此の新陳代謝が盛んになります。ソレ故に古き物を速かに身体を去り之れを補ふ爲めに食慾が増して參り、つまりからだが丈夫になつて體量が増して來ます。併しながら。其海水が直接に身体を强壯にするのでは御座いませぬから此

方の身体が海水の刺戟に堪ゆるだけの力がなくてはなりませぬ。デありまするから海水浴をしまするには身体が餘り虚弱ではなりませぬ。十分に身体の機關が固まつて居ればからだの養ひは益々好くなつて來るが若しも是と反對にからだが衰弱して居ると其海水に這入ッた結果は益々衰弱するのであります。ソレ故に海水浴は余り弱い方には適しませぬ。又衰弱して居る患者などは入れられませんであります又海水を煖めて温浴にして這入ることが御座います。即ち塩風呂で御座います。其塩風呂は唯の海水浴とは其作用が違ひます。是は普通の塩の風呂と同じことで御座いますが、是は後に塩のある温泉の御話をする時に申上げます。

ソレから海水浴に參りまするど、海水ばかりでなく其外にも身体の營養を助くるものがあります。ソレは則ち海邊の空氣で御座います。海邊の空氣と申しますものは海から始終水が蒸發致します爲めに他の空氣よりも涼しくなつて居ります。然し他の空氣程に温度が變りませぬ。ト申しますのは海の水は大陽から受けた温度を永く保ッて居りますから、海に受た温度で始終其邊の空氣を煖めて居りますから温度が急に變ずると云ふ如きことはありませぬ。ソレから海の空氣は他の空氣よりも清潔であつてオゾンと申すものを含んで居ります。又波の爲めに空氣中に散りたる塩を含んで居ります、故に海水浴の効能は前に申した外に空氣中のオゾン、温度の清涼にして不變なる事景色の開豁にして精神を樂ましむる等のことがあります。

主に海水浴を致して宜しい患者と云ふのは、貧血(からだの血の不足したる病)、或は皮膚の弱き人、例へば容易く感冒にかゝる或は腫物が出來るとか總て皮膚の弱き人に宜しい。ソレから「レウマチス」或は腺

病などの人に宜しい。宜しいが併しながら海水浴を致しても更にからだに利かないことがある。ソレは例へば天氣が惡るいとか空氣が冷めたく雨でも降ッて居るとか嵐でもある時分には、海水浴を致してもソレだけの効能は御座いませぬ。海水浴に參ッて居りまする間は常よりは餘計に空腹を感じます故にソレに應じて食さなければありませぬが。餘り食が過ぎてはなりませぬ。ソレから幼小なる小供とか或は老人とか云ふ者は、強壯なる青年の人よりは効能は薄う御座います。ソレから妊娠して居る時は如何であるかと云ふに五ヶ月位迄は海水に這入ッても宜敷いが、其後は這入らぬが宜しい。殊に其人が肥滿して居るとか多血性の人であるならば五ヶ月以後は海水に參らぬがよろしい。ソレから私共が常に多くの人から問はれる事は「海水浴に往ッたなら一日に何座位ゐ這入ッて宜しいとか云ふことですが、是れは醫者によつて極めて遣る人もありますが、ソレを豫め極めるのは至ッて六ヶ敷い、ナゼと云ふに醫者が極めて其通りに致しても、却て害になることが御座いますから、其時と場合によつて極めなければありませぬ。先づ是等が海水浴に就て申上ぐべき主要の點であります。

次に温泉　温泉は急性の病にて用ゐませんが慢性の永くかゝる病に用ゐます。温泉と云ふても其熱いか冷たいかに依ッて色々其用ゐ方も違ひ、其温泉の成分によつて違もひますが經驗によれば是れだけは確かで御座います、乃はち色々の病氣が同じ温泉で治るので、ソレから同じ病氣でも色々の温泉でなければ治らぬのとある。同じ温泉で種々の病氣を療すこともあり、同じ病氣でも必ず其同一の温泉で療す譯には往きませぬので御座います。又同じ病氣でも一方の温泉では利きませんで却て他の温泉で効能のあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る事が御座います。デありますからして化學的に相違ある温泉でも亦性質を異にしました所の病でも両方同じ所の點があるに違ひありませぬ。其同じ點と申しますものは温泉に參りますにはいろ〳〵外にソレと同時に働くものが御座います。ソレが矢張り病を療す所の媒妁となるのであります。ソレは第一旅、行即ちたびで御座います。温泉に參りますには何處に行くにしても旅をしなければなりませぬ。其旅行と云ふのが病氣の療法の一ッで御座います、何故かと云ふに平日に五月蝿ことを擲て自分の職業をも放て眼新らしき所の風色を詠め新鮮の空氣を吸ひまして。全く世の中の繁雜なる事を忘れて仕舞ひます。昔し和蘭の有名なる「ベールハーロ」と云ふ醫師が或る「ヒポコンドリー」の患者から手紙を以て療治のことを問ふてよこした時に、其患者に旅をして私の處までおいでなさい」と云ッて遣ッたことが御座います。殊に旅をするも歩行て御出でなさいと云ッて遣ッた則ち是は旅を以て病を療さうとした一例で御座います。ソレから病氣の人なれば已れの家に居ると自分ばかり病氣で傍らの人は皆壯健の人達でございますから壯健の人が羨ましいと共に自分ばかりは世の中の別もの丶樣に考へられます。所が湯治に行くと自分の外に自分と同じ樣な病人が幾らも居りますから、詰り自分は世の中の別ものでない病人は澤山あると云ふやうな考へも起ッて精神も大に休まります。ソレから生活の狀態が變り食物が變り又家に居ればヂッとして居る人も旅をすれば自然と身体を動かさなければならんのでありますから、温泉に參る外に旅と云ふ一ッの藥があります。

併し旅をするにも人に因りまして種々の處を擇んで往かなければなりませぬ。例へば學者でありますとか學校の敎員とか役人であるとか、終日一室に籠ッ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て勉强する人であれば、少し賑かある處に行かなければありません。閑靜の處に參ると矢張り常と同じやうに引籠つて世の中と交際しないと云ふやうになる、ソレでは往けません、之に反して平日忙がしき人、例へば商人とか交際家とか或は流行醫者とか云ふ類の者は閑靜な處を擇んで行くべきであります。故に溫泉に行くにも閑靜な處と賑やかある處を擇ぶのは其人の平日の業務にも關係があります。ソレから又土地の高低、氣候の寒暑、或は其地に行くべき間の道中の善惡是等も豫め能く人に聞いてから參るのが必要で御座います。

溫泉もいろ〲御座いますが、之を大略に分けて見れば第一に單純泉と申してタヾの水とさう違はない溫泉がある。箱根の湯本などは重炭酸曹達或は食塩が少し這入ッて居るだけで餘り普通の湯と違ひはありませぬ。此溫泉の只の湯と違ふ所は皮膚に軟かに當ると溫度の平等のでサウ云ふ湯でありまするとレウマチスや神經病或は皮膚病の患者などか參るのでありますが、土地が高くありますれば湯の溫度は高くても差支へありませんが併し土地が低くければ……例へば箱根の湯本は土地が低いが芦の湯などは高い。土地が高ければ高き溫度の湯に這入ッても宜しいが、土地が低いなれば幾らか溫度の低い湯に這入るが宜しい。第二には食塩の這入ッて居る溫泉があります、是は海の水を溫めたのと同じであります、水が百あるなれば其中に食塩が二より四這入ッて居られければ効能は現はれませぬ。此の食塩浴と云ふのはドウ云ふ作用を爲すかと云ふに塩が水の中に這入ッて居れば湯の溫度は低くてもからだを暖めることが餘計で御座います、例へば三十五度の食塩浴は普通の湯の三十八度(攝氏)位ゐの湯と同じであります。最も其水に含んで居る食塩の量によつて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

違ひますが、食塩か多ければ多きだけ差があります。

第三には硫黄の湯、是は皆様御存じの通り硫黄臭い湯で御座います。此の硫黄風呂には白粉を附けたまヽ這入ると顔が黒くなります。硫黄の湯の効能は唯今まで醫學上には解ッて居らない、併しながら實地上皮膚病、黴毒、レウマチス鉛の中毒、或は手足の利かぬ病などに用ゐますが、一体は醫學上に於て未だ其効能は判然致しません、併し硫黄泉を久しく飲みますと貧血を起します。

第四には鐵泉で御座います。鐵の這入ッて居る温泉に體を浸しただけは皮膚から鐵を吸入することはありません、併し之を飲みますと幾分か鐵がからだに這入ります。故に唯之に浴しますだけなれば塩類を加へた湯と同じことで御座いますが、飲めば唯今申す通りの働らきが出ます。ソレから炭酸の這入ッた湯があります是は日本には少ないが西洋には幾らもあります。

先づ是等が温泉の重なるものであります。其外西洋には泥浴と云ふてドロの湯があります。これは谷地の様な泥地に温泉の水を灌ぎ之れをとり温めて水に混和して其中に這入ります。最初は人が這入ることを嫌いますがナカ〳〵効能のある湯ですが、日本には未だ始まりませぬ。ソレから松葉の湯と云ふのがある、松の葉を蒸溜し又は煮出して、其松葉の油を温水に混じ這入ります。是も日本にてマダありませぬ。ソレカラ砂の湯、是は砂を暖めて桶に入れて置くか、左もなくは患者の臥て居る上に暖かき砂を懸けて發汗させますのであります。又蒸氣浴と云ッて水でなくして蒸氣の中に這入る事が御座います。ソレは密室に蒸氣を通じて其中に這入ります。或は蒸氣浴でなくして熱い空氣の中に這入ッて熱氣浴で汗を取る方法も御座います。此等は其病によつていろ

〱用ゐ方の違ふ所の浴法で御座います

其外「ドッシ」と申して、冷水或は一定の温度を有して居る水を、種々の形にして身体に當てます。是は湿き湯を以てすることもあり冷水を用ゐることもあります。詰り種々の温度の水をいろ〱の形にしてからだに當てるのでありまして病に由ては缺く可からざる療法です。是等の療法は未だ日本には備りませんが是から漸々に出來ることゝ思ひます。序に玆に申して置きたい事は、唯温泉に這入るばかりでなく、其水を飲んでも効用があります。温泉場に行くと其温泉の分析表が掲げてある。此の温泉には何々が幾ら含んで居ると云ふ事が書き付けてあります。併し此の分析だけで病に就ての用ゐ方が極るかと云ふに、なか〱之を以て極めることは出來ない。一般に申しますれば炭酸の這入ッて居るのが吸呼器の病ひ、或は便秘などに用ゐます、曹達の這入ッて居る水なれば肝臓の病ひ密尿病或は粘膜の加答兒などに用ゐます。又塩湯なれば腸胃肝臓或は食欲の減少した病などに用ゐます。ソレから鉄の這入ッて居ります湯は貧血或は神經痛などに用ゐますが、是等が先づ温泉に就ての御話であります。

其外一般療法に用ゐますのは按摩で御座います。按摩も一般療法の一部分で御座いまして、是は歴史に據りますると往古支那印度あたりから始まつて、西洋の方にも渡りました。西洋に於ては中古には餘り用ゐませんでしたが此頃に至りまた用ゐるやうになりました。按摩の方法にも色々御座いますが、日本では極く賤しい業になつて居りました學問的の研究などは更に無かつたのでありますが、西洋に於ては此頃按摩の専門家が出來て參りまして、指ばかりを按摩する者、或は腹ばかりを按摩する者と云ふやうに専門の按摩があります。今按摩のする事を分析し

て見ますると「擦る」「打つ」「捻る」「壓す」云ふ此の四ツのものが主で御座いまして、此の四ツをいろ〳〵に用ゐまして、身体中に何れにか凝結でもあれば之を散らすとか、其外血の循環を能くし、筋を引延し痛みを少なくする等の働きを有して居ります。日本の按摩は從來肩から手に揉み下げ、脚なれば矢張り足の方に揉み下げるのが習慣でありますが、學理上より申すと是は全く反對で御座います、西洋では手の先きから揉み出して心臓の方に向ッて揉み上げる、何故かくするかと云ふに全身を循環した所の血液又は淋巴が心臓に還ッて來る、ソレを助けるのが按摩の主なる効能で御座います。血液と淋巴の組織の間にあるものがソレが爲めに大ひに能く流れがつきます。今之を動物に依ッて試驗しますと両足の膝の關節に各々墨を刺し込んで一方に立其上部を揉んで見ると、暫時にして其墨は消えて無くなりますが、揉まぬ方の足には依然として其墨が殘ッて居る。ソレだけに揉むと揉みませんのとは血と淋巴の循環に差を生じます。

ソレから日本に御座いまするのは針、針と云ふのは御承知の通り金とか銀とか或はプラチナなどを用ゐますが、之をば皮膚に一寸から三寸まで刺します。ソコで神經に極く弱い刺戟を與へる。針を刺して置くてと暫時なれば刺戟であり、永く深く刺して置くと其處に麻痺を起します。是れも學問的には未だ委しき研究はついて居りませんが、併ながら幾分か効能はあります。併し衰弱して居る者若くは貧血の者に之を施しては宜しくない。

次に灸、灸は矢張り日本支那印度など云ふ東洋の方から西洋に渡ッたものと思はれる。西洋では凡そ二三百年前から用ゐて居ります、日本では艾を用ゐますが西洋では吸取紙などをテレピン油に浸して用ゐ

ますが、其作用は何れも同じことであります。又烙鐵と云ふて灸の代りに鐵を燒いて當てるのがありますが、是れは日本で用ゐる灸の方が効能が宜しくあります。

次は電氣　電氣はいろ〳〵ありますが先づ平流、カンデン、フランクリン氏の電氣と、斯う三ッに別ちます。是は種々の病症に用ゐますが殊に神經痛或は手足の利かなくなるなどは、他の藥では療らないでも電氣を以て直ちに直すことが出來ます。或は慢性のレウマチスで關節の腫れて痛みまするなども、非常に痛みを感じて居る者でも、電氣を懸けますると著しく痛みが減じます。是等の理學的療法は病氣に因りては非常に必要のもので有ります。日本では未だ是等の事も盛んと云ふではありませんが、漸次海水浴の如きも年々人が參るやうになりましたから、斯樣の御話も或は皆樣が温泉や海水浴に參られます時の御參考にもならうかと存じて聊か申述べました次第であります　（完）

寄書

◉少年子弟の衞生に就て（承前）

醫學士　山根正次君演説

夫れ故歐羅巴に於て、此の有毒なる毒草を輸入しましたのは此の時が始めであります、して支那だの、朝鮮だのには、如何なる時、又如何なる手續に依て輸入したるものか、其の事は篤と調べても見ませんが、多分外國船の交通からして南岸地方より入り込んだに相違はありません、又我國に始めて入り込んだのは、文祿四年の頃で、之を培養しましたのは、慶長十年始めて長崎の櫻の馬場に植ゑ、其の後山城の櫻の馬場に移し、又大和の吉野山に植ゑ、夫れか

ら漸々諸國に弘まりましたが、其の種子は、多分葡萄牙人が持て來たものだらうと云ふことで御座います、尤も烟草の由來に就きましては、考證家の説が一致しませんけれども、兎に角舊世界に入り込んだのは四五百年より古くないとは確かなる事實のやうに思はれます

私はこれから煙草の成分、又其の人の身躰に及ぼす結果を申しませう。

煙草の化學上の成分は、分析して見ますると第一「ニコチン」、第二揮發油、第三苦味エキス物、第四護謨、第五林檎酸石灰、第六加里クローヒール第七蛋白質、第八膠質、第九林檎酸、第十「リグニン」、第十一少許の澱粉、第十二灰、第十三珪酸等にて、凡そ十三通りの物が集つて一つの煙草と云ふものに成つて居ります。

又其の煙の中には、「ニコチン」「セリンヂン」「ヒコリーン」硫化水素、炭酸、亞炭酸、青酸等を含んで居ります。

ドクトル、エ、ルードヒック氏は、煙草の煙の中には、炭酸「アンモニア」硝酸「アムモニヤク」及石炭酸を含んで居るが、青酸、硫化水素の含んで居るのは見ないと申して居ります。

又ドクトル、ホール、ドクトル、オイレンベルグの両氏は煙草の煙また汁の中には、「ニコチン」を含んで居らない、何故と云ふに、煙草を吸ふ作用で「ニコチン」は解けて、「アニリン」鹽基と同じものなる「ヒコリン」「ヒリチン」鹽基を拵へるからと申して居ります。

箇様に諸大家の説が一定しては居りませんが、何にしろ煙草の煙の中に含んで居る成分は、「ニコチン」と申し、「ヒリチン」と申し、「ヒコリン」と申し青酸、硫化水素と申し、孰れも人の身躰には害でないもの

はありません、就中最も強烈なるものか「ニコチン」で御座います

「ニコチン」の性狀を申しますれば、

「ニコチン」は、無色透明の油のやうな液躰で「クルクマ」紙を褐色に變じ、酸に逢へば塩類を形づくり、水アルコール依的兒中に溶解して、強く焼灼くやうな味を有ち、煙草のやうな臭氣があります

其れが動物に及ぼす作用、即ち中毒症狀は

咽喉が痒ゆく、又焼けるやうに思はれ、唾を出すことが多くあり、嘔氣を覺え、胃に疼みを發し、嘔吐を催し、皮膚の色が蒼白くなり、寒冷を來たし、頭痛を發すのが御定まりで、極其の度が強いのになれば、人事不省に陥り、痙攣を發して斃れます。

之を解剖しまするど、煙草の臭ひが出ます、

「ニコチン」を五「ミリグラム」程犬に遣りまするど二三分時間で斃れます、

ドクトル、ホフマン氏も、煙草の葉の汁一滴で、猫一疋を斃すことが出來る、其の他少さき動物は、孰れも二滴から三滴で殺すことが出來ると云つておきました

實に煙草は恐るべき毒草で御座います。

以上は煙草の有毒成分を、化學上で分解したる作用を述べたのであります。誰も此の「ニコチン」を飲むものがないことなら、無用の心配のやうにありますが、此の「ニコチン」は始終他の成分と抱合して煙草の中に在て、人の口また鼻の粘膜に觸るときは、前に申したのと同じ中毒症狀を發しますが、唯それには輕い重いの別があるだけのことであります。

私はこれから、煙草の人の身躰に及ぼすべき弊害を擧げて申しませう、煙草の害は、「ニコチン」が主

なる原因で

第一　煙草は血液を汚濁にす

第二　煙草は咽喉を毀害す

第三　煙草は肺病を發す

第四　煙草は心臟病の原因となる

第五　煙草は胃病の原因となる

第六　煙草は腦病を發す

此れ等は一々理由もあれば、例證もありますが、其れを述べまするど、餘り長くありますから畧しておきます。

ドクトル、ノートナーゲル氏の著書の中に、十八歳未滿の男兒が、卷莨半本を飲んで死んだる例があり、又一人は十八歳にて、卷莨一本を飲んだるが爲めに死んだる例もあります。

一昨年のことでありましたが維也納の一新聞には十四歳の童子が厠の中に斃れて居た、所が其の童子の側に吸殘りの卷莨があつたに依り、此の童子は、マダ吸慣れざる毒草を吸飲まうとして、其れが爲めに嘔吐、眩暈、人事不省等の中毒狀症を起して遂に斃れたることが分つたと出て居たこともあります。

ホフマン氏の著書の中に、ビルビーニヒ氏の報告に依れば或る兄弟が烟草を吸ふことの賭事をして其の一人が十七本までの卷莨を吸ふて、トウ／＼死んでしまつたと書いてありますまだ／＼あります。

右は直接に烟草を吸ふもの丶害毒を述べましたが更に甚だしいものがあります、それは烟草は吸はない、烟草と云つたら一服も飲まないが、烟草に觸れ、烟草にさはるので、自然中毒症狀を來たすものがある、或る醫師の報告に依りますれば、

烟草製造の職人は、大概烟草の痲醉毒を感じ、職工女の十中八九は最初には頭痛、嘔氣、眩暈、下痢等に罹ることが御定まりである、併し其れから

三四ヶ月も立てば、習慣は自然の性をなして、烟草の粉末を吸ふ位のことではない、其れを飲むものさへある。

箇樣の次第であるから、烟草製造の工場での病氣は呼吸器及消化器の加多爾、及び「リヲマチス」痛風、胃痙、間歇熱其の他婦人の特有なる病氣及び「スコールブート」等であります、(尤も「スコールブート」は、工場の構造の不良及び食物の不良から起るかも知れません)マタ瘭疽(ウラブ)を煩らうこともあります、獨逸のゲー、シング」、ハインブルグでは吐瀉病を煩らひ、ヒウメーでは夏分になれば、下痢を煩らひます、其の下痢症に種々ありますが、孰れも慢性で療治が仕惡い、萎黄病は月經の異常を發すもので、其の病氣も毎年澤山あります、此れ等は皆「ニコチンの」中毒が土臺にもなり、又常に坐業をするのが土臺にもなつて、そんな病氣に罹るのであらうと申すことであります、墺國のイグラヲ地方では、烟草製造の職工が千九百人餘りあつて、其の年齢は十三歳から五十二歳までのもので、仕事の時間は毎日十時間ですが、ドクトル、コスチアール氏は、烟草の塵芥及びニコチンの蒸發氣が、殊に新入の工女に有害なる次第を報告されました、其の報告に依りますれば。强烈なる烟草の粉末は、皮膚粘膜に新生物を拵らへる原因となると云はれましたまた、コスチアール氏等は、或る處に於て妊娠の女工が、其の陰部に植物性の發生物を生じたるものを發見し、また工女にして乳房の萎縮するやうになるものがある、また新入の者に在ては、最初の六ヶ月間に百人の中で七十二人は腦充血、神經の諸病、季肋部の壓重、心悸亢進、貧血、胃炎、結膜炎、倦怠不眠、及び食欲減退を發するものだとのことで御座

います

プロフエッソル、シユロイデル氏は、或る時維也納で工女中毒の塲合に於て、其の尿中に「ニコチン」の存在して居たことを證明せられました、老年の工女になりましては、齒齦の縁が黄色にて白き色を見するものあり、又齲齒を有て居ます、齲齒は何れの國でも、烟草製造の職工中に格別多いものですが、併し此れは「ニコチン」の作用に依てそうなるかどうかはまだ證明を得ません、老年の工女で、齲齒に白色の苔が生じ、且つ齲齦に不潔の汚穢物が溜り、皮膚が黄色に見えることがありますけれども、是れは職人に限つたことではない烟草を吸ふ人には見受けることであります。

又一般に烟草職工の躰格搆造は宜しくなくて、其の發達も良くありません、(勿論他に原因もありませうが)工女の産んだ兒には病身者が多く、又工女には墮胎及び早産をするものが臨月になつて腦及び脊髓に充血を起し、其れが爲めに胎内の兒に「ニコチン」の中毒を引起す氣遣ひがあり、ヨシヤ十分に分娩しても、母の乳を飲むが爲めに中毒を起すことがあります。

此の通りに烟草製造所は、衞生上隨分危險のものである

歐洲諸國では、工塲の衞生は一般に行き屆いて居りまするが、就中烟草製造所は、取締向きを一層嚴重にし、工女の如きは、一定の住家を造り、且つ工女のみの爲に設けられたる病院もあります。

我國の如きも、烟草の製造發達し且つ其の職工の如きも柔弱幼稚な女子を使ふ傾きがある故、將來當局者たるものは、其の取締向きに就て適當の處置がなければならん、私は此の事に就ては御咄したいことが澤山ですけれど、咄が横道へ這入る

から其れはよしませう。

扨烟草が、人の身體に及ぼす害惡は、前に述へました通りであるに、世間の人が頓着せん計りではない、百人の内九十人までは、看す〳〵此の有害なる嗜物を吸ひ、また其に人に薦めて、平氣の平左衛門で何とも思はぬとは、不埒千萬のことで御座います(以下次號)

◉婦人須知（前號の續）

醫學士　賀古鶴所君

體重秤量

嬰兒の發育するや日々數カラムの體重を增加するを常とするを以て之を秤量するは唯其衰弱疾患の如何を視るに至らず又其發育の如何を撿するに至要なり故に體重若し一週間同量に留止せは宜しく其原因を探究すへし槪して滋養の不給不良若くは不定に由り生する者とす

又單に嬰兒を秤量するに由て生母自ら乳養すると乳母をして乳養せしむるの適否を撿し得へし世間往々確固たる因由を擧けすして生母の乳養するを不可とする者ありと雖先つ嬰兒の體重を秤量し其發育の如何を撿し然る後ち始て適否を斷すへきなり又乳房に接する前後に於て嬰兒の體重を撿し以て其吸攝せし初一ケ月に於ては日々九回つゝ乳房に接し吸攝せる乳の總量六百五十グラム即ち毎回七十グラムにして第二月に於ては乳房に接する日に六七回にして總量八百グラム第三月に於ては總量八百四十グラム第四月乃至第九月に於ては總量九百五十グラム以上にして毎回四百グラムに登れり而して此量を撿する目的は生母若くは乳母の榮養十分にして嬰兒の要する乳量を供給するに堪ゆるや否を知るにあり

小兒の成育

獨乙國に於ては虛弱なる嬰兒の體重は二千三百グラ

ム乃至二千九百六十グラムにして中等の者は二千九百六十乃至三千三百九十グラム強壯の者は三千三百九十グラム以上なりとす又獨乙聯邦なるイデルベルク府に於て秤量せしに最も少量なるは七百十七グラム最大なるは六千五百グラムなりき凡そ嬰兒の分娩するや其初め二三日乃至十日間は日々平均二百二十五グラムつゝ體重を減す而して乳房に接し養育する兒は二三日を經れは既に増量を始むと雖とも八九日にして原量に復する者は榮養最良なるなり此期を過きて後ち體重の増加するは日々三十二グラムを以て平均とす五十乃至六十グラムに上るは頗る稀なり而して牛乳等を用いて養育する者と雖滋養其宜を得は亦此の如きを得へし玆に注意すへきは乳母の食料を如何に完美になすとも運動を缺けは從て嬰兒の榮養に影響を及し假介疾患を生するに至らさるも一時體重の増加を停止することある是なり

哺乳を停止するには宜しく漸を以てすへし然らされば必らず嬰兒の榮養を損す即ち初め四五日間は毎日體重二十五グラム乃至七十グラムを減す其減量十グラムに止まるは頗る稀なり而して第五日を經て終に増量を始む最も速に體重を復するは山羊乳並牛乳とす三乃至六ケ月の小兒に在て之を用ゆれは日々十五乃至三十クラムを増加すコンデンスミルクを用ゆれは體重を減却する時日長く且つ之を増補すると些少にして原量に復する亦緩慢なり

次の表は嬰兒の發育するに從ひ日ごとに體重の増加するを示す者なり

嬰兒發育表

	日々ノ増量	一ケ月ノ増量	合計
一ケ月	三五クラム	一〇五〇クラム	四五五〇クラム
二ケ月	三二ク	九六〇ク	五五一〇ク
三ケ月	二八ク	八四〇ク	六三五〇ク

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四ヶ月	二二ク	六六〇ク	七〇〇〇ク
五ヶ月	一八ク	五四〇ク	七五五〇ク
六ヶ月	一四ク	四二〇ク	七九七〇ク
七ヶ月	一二ク	三六〇ク	八三三〇ク
八ヶ月	一〇ク	三〇〇ク	八六三〇ク
九ヶ月	一〇ク	三〇〇ク	八九三〇ク
十ヶ月	九ク	二七〇ク	九二〇〇ク
十一ヶ月	八ク二	四〇ク	九四四〇ク
十二ヶ月	六ク	一八〇ク	九六〇〇ク

麥粉粥及ソップを用ひて養育する者は日々五乃至十グラムを增加するに止る

然るに乳養停止するに漸を以てすれは別に體重を減するに至らす但し下痢を發すれは體重速に減却し吐瀉病を發すれは殊に甚し即ち僅に三日にして二千二百五十クラムを減却せ、とあり又生後四ヶ月の一兒吐瀉病に罹り十日間にして體重三千九百五十六クラムを減せしとあり咳嗽感冒種痘に由ても亦少しく體重を減する者とす

嬰兒の衣服

肌膚に親接する者は麻布綿布にて新調し裀等を設け屢洗濯すべし而して成るへく單簡なるを良しとす

總て呼吸を困難ならしむる狹き衣服重き被褥を用い帶紐を緊しく締むる等は務めて避くへし然るに邦俗を視るに幾重となく衣服を重襲し嚴しく襟を正し附紐を締むると緊きを以て脆弱ある嬰兒の胸廓は爲に強く壓せられ呼吸を妨けらるゝと少からす就中附紐を緊しく締る弊は之に應せる胸廓の下方の一部に凹みたる溝を生し爲に肺患を將來し易からしむるものあり又嬰兒の背は軟弱にして撓み易きを以て第二章に圖出せる如き確固なる蒲團を當て其儘抱持すへし而して胸腹脚部は温被すべし鼻口は被褥涎掛等にて蔽塞せす手椀は壓せさる樣注意し室内に於ては一切

帽子等を以て頭を覆ふ可らす健康なる兒に於ては其初め少しく臥褥を暖むるを善とすれともユタンポ及火氣を用いす又臥帳等を垂れ爲に新鮮なる空氣の流通を妨く可らす

嬰兒の衣服尿水に汚染せは晝夜に限らす每回新清なる者と更換し常に嬰兒を乾燥に保持し而して汚染せる衣類は速に洗滌すへし

嬰兒の浴法

嬰兒をして適度に入浴せしむるは大いに其發育を進促するの利わり故に日々溫浴せしむるを善しとす然るに浴溫若し高きに失すれは頰筋の痙攣を起すを以て常に撿溫器を用いて撿溫すへし但し決して手腕等を以て輕卒に撿す可らす何となれは年長の人の皮膚は其知覺大いに嬰兒と異なればなり又浴前には每に清淨なる着替等を整頓し置くへし

哺乳後直ちに入浴せしむ可らす凡そ半時間の後を良しとす

嬰兒を浴せしむるに方つて目を洗ふには決して浴湯並に身體を洗ふ手拭を用ゆ可らす他の清淨なる手拭を取り清水に潤ほして用ゆへし

頭部も亦顏面の如く常に清淨して清美に保つへし若し頭髮に凝結を生せは油を塗り次に石鹼を用いて洗淨すへし此の如くして尙ほ凝結を生せは短く剪るを良しとす

浴後身體を拭ひ乾かすには先つ豫め暖め置ける麻布を用い次にフラチルを用いて摩し拭ふへし浴後には麻布を清水に潤ほして口中を拭ひ清むへし

小兒の浴溫に左の如き數種の區別あり

寒浴　水溫攝氏十九度　即ち華氏六十六度二分
冷浴　水溫攝氏二十乃至二十八度即ち華氏六十八度乃至八十二度四分
微溫浴　水溫攝氏三十三度　即ち華氏九十一度

温浴　水温攝氏三十四度乃至四十度即ち華氏九十三度乃至百〇四度

熱浴　水温攝氏四十一度　華氏百〇六度

醫師を迎ふべき場合

啼泣して止まず嘔吐下痢呼吸促迫安眠を得ず若くは全く睡眠せず瘦其他異常の症候を現せは産婆のみに委任せずして速に醫師を迎へて治を求むへし

◉浴場行日誌（前號の續）

醫學博士　佐々木政吉君

「モール」浴を見終りて主幹と共に瓦斯浴場に詣る裝置「マリエンバット」と同じ場中には幅凡二尺長さ凡六尺位高さ三尺位の箱を置き中に椅子を設く人若し箱中に座すれは温暖を感ず別に又一人の爲に設くるものあり三十分間を以て限りとす炭酸瓦斯浴をなすものは充分に注意せさるべからず然らされは窒息して死に至るの恐れあり此浴は重に神經衰弱の諸症に功ありと

是より主幹我を饗應するに葡萄酒及煙草を以てす此處にて此地の浴醫ドクトルキッテル氏に遇ふ主幹曰く貴下滯留久しけれは示すべきもの多しと雖も既に午後を以て當地を發せらる時無きを如何せん此所より凡そ三十分にして「カムメルビル」と稱する所あり一大岡あり眺望に宜ろし共に與に行かんとキッテル氏亦共にせんとす即「カムメルビル」に赴く途中春暖を催して外套を脫す「カムメルビル」に着す其一部分には道路修築の原料として燒石を採掘する所あり主幹曰く今日此岡上に於て無數燒石の磊砢たるを見れは古昔ベーメン洲か火山に富みしの當時を追懷すべしと

岡上に登り四顧す主幹獨澳兩國の境界を示す時に轉風塵を飛はさず沃野春綠を呈し田圃野林春色十分な

り千里一望して遙かに獨領ザキセン、バイエルンの小邑を認むエーケル府を望みて其歴史上に有名ある所(ワルレンスタインの死する所)たりしを追懷し或はフランツエンスバットの地勢を想し頗る眼目を樂ましめたりき

蓋しフランツエンスバットの地勢たるカルヽスバット、マリエンバットと全く其趣きを異にす此れは山林谿谷の間にあり彼れは高原森林の中に立てり故に高きに登り低きを望むの景色無しと雖も遊園家屋の配置其宜しきを得一街を出れは一園を見左に街衢あれは右に林間逍遙園あり之を此浴場特種の長所とす(主成分等略)「カムメルビル」より「フランツエンスバット」に歸り「フランツエンスクエルン」の近傍に於て主幹及ドクトル、キッテル氏と別れ厚く禮辭を述べたり「ホテル」に來りし頃已に正午を過きぬ倉皇晝餐を喫し直ちに馬車を驅て停車場に至りライヒプチヒ府急行列車劵を購ふ二氏余を送りて停車場に來れり其懇切眞に謝するに堪へたり二時四十八分急行車「フラッエンス」浴場停車場を發す「ライプチヒ」に達せしは夜八時なりき途中車窓より遠近を眺望す制作場、農耕、森林、山河、送迎に遑あらず坐らザキセンの春色を樂むを得たり今夜停車場の傍らなるホーヘンスタイン「ホテル」に投す顧みるに三月廿五日伯林京城を辭してより或は南し或は北す日を閲すること十有一過くる所は「ヘーリングスドルフ」海浴場を始めとして「テリブッヽ」「ビリンカルヽスバット」「ギースユーブル」「マリエンバット」「フラノッエンスバット」の七浴場あり

晩餐を終り近街を散歩す「ライプチヒ」は我か往年留學せし所にして此「ホテル」の「レストウラン」に屬食したることあり「ホテル」は三年以前より他人の所有となり舊主人は今クラメル街に於て新たに割烹店を

眺くと云ふ市街大に面目を改め醫科大學の諸教室等は改築せられたるもの多し十年前の當時を追懷し坐ろに今昔の感に堪へざりき

余は茲に浴場行の草を擱く行旅匆々隨て見隨て記し文章句を爲さす只異日の備忘に充つるに過ぎざるなり

（大尾）

衛生叢談

◉アイヌの衣食住

○衣　奧洲邊にて産する靑縞サクリと稱する白絣立縞の筒袖の背及袖裾に彼等の得意なる唐艸摸樣に似たる刺繡をなしたる膝切の衣を着す男女共上衣は異なることなし只男は襯衣を着けず股引を不用刺繡ある脚伴（土人語ホシ）を着け女は淺黃中形金巾の襯衣のや丶長きもの西洋人の寐衣の如きを着し刺繡の無きホシを着するの相違あるのみ總て男は冬の外襯衣をも着す股引を着す（冬は金巾綿ネル等のシャツを着する者もあり）ヤ丶ともすると其裡躰になるを何共思はねと女子は例の長襯衣を着して決して肌を露はすことなし胸部さへも露はさず內地の婦人の如く隨分中等の生活を營む者てさへ他人の前にて小兒に哺乳せしめ瓢大の乳を振廻して耻する色無者あり此如義をアイヌメノコに見せしめは面を掩ひて逃出す可し小兒は多く皮衣あり狐皮に非す無論鶴の毛衣にもあらず生れながらの皮衣其身其まゝの赤裡体冬季雪中と雖も其まゝにて爐邊に躑躅せるを間々見受ることあり

右は一般通常の衣服にして中には洋服（兵卒の古衣小倉服）打扮の靑年あり木綿小紋五所紋の綿入に小倉の帶を猫ジャラシに結ひ跣足にて木製の長烟管を提へたる老紳士あり紅木綿三ッ身の午後五時頃にな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りたるを極上の晴れ衣になしたる七八才の孃樣等妙々奇々の服装あり

婦女の内にても少しく金力ある夫を有する開明主義の者は綿メイセンの衣にメリンスの半襟を掛たる繻絆を着し中形メリンスに綿小柳の服合せの帯を結び白足袋に唐天の鼻緒の駒下駄にてカラコロと當世めかす(彼等には)者もあり

熊送飲酒會(年中の樂の一にして定期の會)等儀式張たる時着する禮服は地は例の青縞を用ひ筒袖にて裾丈けに仕立所々に赤色の布片を縫付其上を一面に總刺繍にせし襠掠の者を通常の衣の上に羽をることと男女共畧ることとなし

アイヌは古來よりアッツシとてヲヒヨウの樹皮にて自ら織なせし鹿造なる布を以て製せし衣を着し來りしか近來に至り少なからざる時と勞力を費して不完全極まる衣を製らむよりは其時と勞を耕作漁業等に更へて得たる金にてアッツシに優る數等にしてしかも其價の廉なる青縞等の綿布を用ゆ方利益ありと云ふ經濟の利を發明したるより以來はアッツシを用ゆる者無きに至れり只山中人里に遠きアイヌ等稀に用ゆる者あるのみなり

○食物　首なる食物は粟稗魚類は鮭鱒等にして粟稗の粥に鮭鱒等をブツ／＼切になしたる中に野生の菜類を入食塩少を加へグツ／＼煮たるを喰ふ資産有る者は一日に一回二日に一回位は粟稗の粥に米を加へたるを喰ひ菜を味噌亦は醤油にて塩梅したるを食す亦米の粥の中へ鮭のはらゝごを入魚油を垂して煮たるをチポル鰯(鮭のハラヽをチポルと云ふ)とて彼等の最上無二の珍味として賞味する所にてなま臭く油臭く變テコにてトテモ内地人の口に入るゝことも出來さるものなり

秋の末に至れば鮭を漁し腹を割き身欠にしんの如く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なし干揚たるをアッダチと稱し冬季欠く不可食物となす亦十二月頃に捕りたる鮭の無傷なるを撰み日影に掛け置き寒氣の爲め凍りたるルイベと云ひ其肉を薄く切取り爐の火にてチットとかし鹽を付て喰ふ是も亦彼等の珍味として喜ふ所のものなりルイベはチポロ鰯と異り内地人と雖も鹽辛からすみを好む流の者には隨分ヨーゲスチーと云はすることを得可し其他酒糖類は彼等の好む所にして辛酸茶は好まさる方多し……辛酸は内地人も餘り好まさる可し呵々

○○住居　造家法は全道一般大體同樣にて堀立の草小家中柱無入口の方に窓一個傍の方に一個の窓を付し入口は裏口一方にて必ず入口の前に吹卸しを作り其内に新臼其他の農作道具等を置くこと納屋の如し母屋の中央に爐を設け爐の左りの羽目板に添ふて六尺に三尺位の床の間を作り三方共キナとて蒲にて造りたる莚を垂下け他人のうかがい見ることの出來ざる樣なせりコハ主人夫婦の臥床なれば是をコ、カと云ふ家族は皆爐の傍にゴロ〳〵勝手に臥す冬とても夜具を用ゆることなくゴロ寢なり客間にも納戸にも茶の間にも寢居るも皆此一間の外にあることなし

衣食は餘程シャム風に改良せしものあれと住居を改良せしは極々稀なり殆と無と云ふて不可なし毎戸草小家の庫を設く家の入口の前に高かさ九尺巾下四尺位四本柱に作る鼠と水害を防く爲なり小家の外見は甚雅趣有ものありと（函館新聞に見えたり）

◉肺病は煙管より傳染す

肺病は一の傳染病なることは己に世人の知る所にして其患者の咯痰を顯微鏡下にて撿する時はバチルスの存在するを見て明なりとす扨て其の傳染は如何なる機會に生ずるやと云ふに其咯痰等に觸れざれは肺病患者と同室に起居するも恐るゝに足らずといへ

ども最も恐れて愼むべきは煙管の貸借にして其害之れより甚しきものなし煙管は屢々肺病患者の口に接したるものあればバチルスの存在するは論を待たず然るに之を他人に貸し與へて飲用するは恰も肺病患者と接吻すると同じく該病の傳染は多くは此より來るといふ外國にては病者にして遠慮なく健かなる者の煙管を貸り用ゐて怪しまず健かなる者も又少しも之を忌まずといふ實に危險の甚しきものあり我國の如きも隨分此に類することなきにあらず今日にては客來の節には多く卷煙草を用ゐて接待すといへども往々煙草を吸ひ付けて人に饗するがごときは其野卑なることは暫らく措き其健康人を害すること甚しと云ふべしサレハ若し其安然を保たんには寧ろ卷煙草を用ゐて煙管を所持せざるに如かず卷煙草を用うるよりは却て煙草を飲まさるに如かず

●入毛の注意

印度人或は支那人の髮の毛は多くは佛蘭西巴理に持ち行かれて都人士女の付け髮其他頭の飾りに用ゐらるゝよしなるが元とこの髮の毛は死人の頭より切り取りたるもののゆへに時には其死者の熱病、虎列剌などの如き厭ふべき病毒等の之に殘着し居りて爲めに怖るべき病を他に移すの懼れあるより今回いよ〳〵右外國より輸入の髮の毛は總へて消毒法を用ゐて之を淸潔ならしむることに定めたりといふ我國にても從來入毛或は付髷と稱してかもじ屋に賣買するものは亦死人の髮の毛多しと聞けるが之等は前同樣消毒法を施したる上にて用ゐられたきものなり

●地下バクテリヤの有無

エデンバラーのドクトル、アレキサンダー氏の地中のバクテリアの有無に就き考究する所ありしが其結果は地面を下ること深さに從ひ其蟲は追々少なきことを知れり例へは地上表面にて一グラムの土を取り

顯微鏡の下にて之を撿査するに其蟲の之に居る者は平均一、六八七、七九九なるも下りて地下三フヒートの所には一七三、八〇七に減じ尚深き下に至れは甚だ僅かなるを見れば極く深き地中にはバクテリヤは存在せざるものなることを知るべしサレハ一番多くバクテリヤの蕃殖するは地上の表面殊に不潔の塲所にありとす故に此不潔の塲所は冬期間よく清潔法を行ひて夏季の疾病にかゝらぬ様御注意ありたきものなり

◎生きたる人の胃に穴を明けて消化作用を見る

近頃亞米利加の諸新聞は「エキユアドル」と云へる所に住める二醫學博士の廣告を掲げり其廣告實に妙不奇議なり

拙者等今般醫術研究として生ける人の胃に一孔を穿ち其れより消化機の構造を實見せんとす之に應したるものは一千磅を與ふべし但し生死は保證の限りに非ず

此廣告一度新聞紙上に現はるゝや人様々なる廣き世界には命より金が大事と見て亞米利加人は我も〳〵と其募に應したる必死の者共今は百四十二人の多きに及びたりといふサレハ右の二博士は此多人數の中よりいと屈强の力士一人を撰みていよ〳〵其試驗に取りかゝるとの事なるか世は中々に進歩する者かな

◎二疋の蜂に擬す

勉蜂は蜜を吸ひ取りては己れの巣に歸り終日怠ることなしといへとも惰蜂は貪慾飽くことを知らず食傷の餘一命を失ひし話は世に傳はる寓言なるか此は又二人の蜜蜂のはなし山形縣西置賜郡蠶桑村の安部某なるものは隣家の某と共に山へ樵りの爲め同村八ヶ森山といへるところに至りしに傍の大木に蜜蜂の巣あるを見付けて大に喜び翌日は朝まだきより兩人徳

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

利を携へ行きて件の蜜を絞り取らんとしけるとき徳利の外に滴たる蜜の勿体なしとて一々嘗めたるか初めにてその甘きこと甘露も啻ならざるより果ては絞りては呑み呑みては絞りイザ歸へらんとするに一人は足元よろめきて其場に斃れしかば乙はこれを助け起さんとせしも是れも亦つゝいて斃れ起さんとすれとも立つこと能はず進退茲に谷まれりそれはさて置き茲に又両家にては右両人の歸り遲きに心配し夜半近隣の若者數名を頼みて同山に入りソコヽと索ねしに彼の大木の下に斃れ居たる兩人を見付け扶け起して漸く連れ歸りしとのことなるか余り甘きものゝみを食するときは斯くも身体に影響を及ぼすものあるか世に傳ふる蜜峰の話しも亦偶然にあらざるを知るあり

●世界の大男

世には隨分重量の人もあればある者にて米國インチアナ洲ハンドリック郡に住せるジョン、ハンソン、クレークとて當時三十七歳なるが其躰量實に九百五ポンドあり當人の話によるに初め其生れたる時已に十一ポンドあり其后十一ケ月を經て七十七ポンドとなり二歳の時は二百六ポンドにて紐育府に於ける小兒見世物場に於て一千弗の賞を得五歳には三百二ポンド十三歳の時四百五ポンド二十二歳の時は非常に增加して七百二十五ポンドに達し二十七歳には七百五十八ポンド二十八歳の時七百七十四ポンド二十九歳の時七百九十一ポンド三十歳の時八百六ポンド三十一歳の時八百三十六ポンドとなり目今は遂に九百五ポンド(百八貫六百目とあり)尚漸々增加すると又身長は六尺五寸にして胴の周圍八尺四寸膝の周り二尺五寸腿の周り五尺九寸あり衣服を製するには四十一ヤードの反物、靴下を作るには三ポンドの毛糸を要すると桑港の金門日報に見ゆ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●金人種と銀人種と

老農は云へり種子を他より持ち來りて之を植ゆるも二三年をたつうちには其他の種子と同様のものとなるなり例へは薩摩の櫻島の大根を練馬に持ち來りて植ゆるも二三年たては皆悉く練馬大根と化するに至る是れは櫻島大根の花粉と練馬大根の花粉と結婚して合ひの子種を生じ合ひの子種と練馬種と又結婚して練馬七分五厘櫻島二分五厘となりかくして終に練馬と化し終るに至る故なるべし人種も又之と同しく西洋の銀人種が黄金人種と結婚して合いの子を生し合ひの子と黄金人種との間には黄金人種に近かよりたる合ひの子を生じ遂には黄金人種と化し終るの類なりと

●藁灰繃帶と消毒繃帶

現に海軍衛生部内に使用せられつゝある築地軍醫正の發明に係る藁灰繃帶と消毒繃帶との比較について石黒軍醫總監の意見なりと云ふを聞くに藁灰繃帶と消毒繃帶とを比較すれは二ッの便利と一の不便あり一は其價の廉なることは經濟上一と十との割合なり之を用ゐる上の便不便を云へは固より患部の大小に關係すれとも消毒繃帶にありては膿み液の浸み出す爲め例へは一日に五六回も取り交へるの不便あるも獨り藁灰繃帶にありては藁灰の吸収力強きが故に夥しき膿み汁に對しても一日若くは二日間に一回其輕きものは五日間に一回取り易へるのみにて少しも治療の上に困難を見ず此點に於ても使用上藁灰繃帶は消毒繃帶に勝れりかゝれは戰時に當り多數の傷我人を生する場合には治術上便利の大なるは申うす迄もなきことなから藁灰繃帶は此便と利あるにも拘はらず未だ其專用を許さゝるものは明かに二個の理由の存するを以てなりと消毒繃帶は元と戰時の準備としては上下士兵卒の軍服の袖裏に之を縫ひ着け各人

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の急を救ふに供するものにして其形一の布片にしてシカモ大ならざるを以て袖裏に附着して置くも服裝上別に不体裁を見ず然れとも藁灰繃帶にありては袋に之を盛るを以て其形の大なる到底袖裏に附着すべからず假りに附着し得るものとするも一旦袋の破れたる時は四方に飛び散るの恐れあり斯れは戰時の準備のみに消毒繃帶を用ゐ藁灰繃帶は平時に用ゐることゝせんか平時にありても繃帶は二年毎に取り易へるの制規なるを以て其古き分を消毒繃帶の如く病院等に送り其消耗に供するとすれは經濟上の複雜を免れず以上の利害に付き目下研究しつゝあるを以て出師準備上各人携帶の便法を得て藁灰を專用し得は自ら經費節減の一助ともあるべし云々

◉窒扶私新治療法

伯林大學校敎授ドクトル、ア、フレンケル氏は窒扶私「バチルス」を發見せしよしにて同氏の主張せることくなれば該「バチルス」の接種法は熱病の治療上に驚くべき効驗を現す可く又ドクトル、ルムプフ氏は防熱「バチルス」なるものを培養し得たるよしにて該「バチルス」を以てすれば八日間以内に必ず窒扶私を全治し得る旨を證言したりといふ

◉咳の防ぎ方

寒冷のきびしきにつれ咳も色々あるべしさりながら之れが直し方も亦一樣には參るまじけれども兎に角晝夜せきにせめられては溜らぬことゆへ姑息ながらも一時の防ぎ方に上手ならでは叶ふまじさて咳の不意に出るものは致し方あれどもゲホン〳〵〳〵と二三度もやりたる後はその勢ひのゆるいものなれバそのときは斷然呼吸を休み暫くして徐かに息を繼ぎ初めなば大抵は喉の痛むの又は身体の疲るゝのといふこと少きものなり咳を直すに物を食ふものあれども之は氣管と食道との辨別もつかぬ話しなりと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉藥となるへき野菜

今日常食とするもの丶内に諸病に特効あるものありその二三を示さん

一 ほうれんそうは腎臓に直接の効能あり

一 とうぢさ及かぶらは食欲を増す

一 わかなすは肝臓の藥となる

一 天門冬は血を清くす

一 ちそ及胡瓜は身体の組織を清涼ならしむる効あり

一 蒲公英を生にて用ふれは腎臓病に効ありと

一 ねぎにんにく、にら、かんらん、類は筋骨を強くし唾液及胃液を増し消化を助く

一 葱の肉湯は消化器の衰弱を醫す効あり

一 赤葱は利尿藥なり

一 白葱は不眠病に効あり

一 芹はリヤウマチス及神經の藥となる

一 蓬は種々特効を有する草にして植物中の靈草とも云ふへきものなり近來之を以て茶を製し朝夕呑み用ゐて大に身体の健康を増したる實驗者ありといふ其直話に曰く蓬の若葉をつみ取り乾干となし黑くなるまで焙炙し之を通常の番茶のごとくなせば善き香ひありて頗る佳味あり且体温を加ふることと尋常にあらず云々

◉衛生と經濟

正月にありかるた遊ひなどにて衣類等を汚すことなきにあらす之等は衛生にも經濟にも不利なることなれば今其注意を一二掲げんとす

衣類に物のつきて落ち難きことありそれを落す方種々あり酒の衣類につきたるは烟草の烟りを吹きかくべし其痕の存することなしと傳ふ

又酒にて染みの出來たるときは豆汁に浸し置きて後洗ふべし

油のつきたるは大根の搾り汁を塗り熱き湯にて洗ふべし

衣類に澁のつきたるときは白砂糖を其處へ附けて洗ふべし

又疊或は衣類等に蠟のつきたるときは誰れも知る處なるが熱き灰を紙に包みて其上を數回壓すへし若し一度にて取れざれはたび〳〵灰を取りかゆべし

煙草の脂のつきたるときは水へ生味噌を入れてとき其汁るをもつて洗ふへし

餅の衣類に付たるときは大根の搾汁を以て洗ふべし

ペンキの衣服につきたるときは水を口に含みて之を吹き掛けながら洗ひ又は石鹼を以て洗ふべし

恭賀新禧併せて會員の健康を祈る

明治二十七年一月元旦

四海端を改め新禧幷び集り日の丸の國旗は紅白を飜して蒼空に映じ門松は翠色を罩めて千年の壽きぶをあらはし賀客は門に接して來往織るが如く男兒は凧に夢中となり士女は追羽子に餘念なく千門萬戸共に太平を祝さゝるはなし

此太平鼓腹の樂みは　聖德の恩澤によるといへども又身體の健康なるが故なり身體の健康何によるやと云へは衛生の一點より外なきなりされば本年も倘一層皆様と共に衛生法を研究し此太平の恩澤に浴せんと云爾

●稀有なる長壽者

一陽來復天地改まりたるに際し玆にいと芽出たき稀有なる長壽者こそありけり之れ全く衛生法に適へる生活をなせるによるものか長壽は實に祝すべきなり本會員は必しも皆此長壽者にあやかりて鶴は千年龜は万年の齡ひ壽くことを得べければ玆に掲けて皆様

に御紹介申上げん

◉百歳の壽筵

宮崎縣東諸縣郡高岡村の本田某氏廣告して曰く曾祖父「親容」來明治廿七年を以て一百歳の高齢に達せり四方の文人詩歌文章俳句を寄送せよと目出たし

◉長壽六兄弟

書くも目出度福岡縣穂波郡桂川村野村某の兄弟六人長女八十二才、三女七十五才、次男七十二才、三男六十九才、四男六十六才、五男六十三才何れも健康無事なり而して其父母は共に八十六才まで生存せしといふ目出たし

◉長壽郷

信州北佐久郡伍賀村は土地高燥人皆壽を保つ目下八十歳以上九十一歳以下の老人十餘名あり何れも矍鑠たりといふ目出たし

◉鶴壽會

福岡縣志摩郡元岡村大字太郎丸にては尙老の意を表せんと此程六十歳以上の男女廿一名を撮影し一面の大額となして其氏神の社に揭げ區中の老若男女參集祝宴を開き會名を鶴壽會と附せりとは目出たし

◉佛國の長壽者

獨逸の醫學博士ヘルマン、ブースの報告書を見るに今世紀の長壽者とも謂ふべき者は先つマリービウーと云ふ老媼なりこの人佛國の產なるが西曆一千八百三十八年(今より五十四年前)一百五十八の高齢となるも身體頗る壯健にして中々壯者も及ばぬ强壯者にして祭日日曜日などには必ず會堂に行き祈禱の二時間位に至るも飽くことなしといふ實に稀有の長壽者なりといふ之も又目出たし

◉大日本婦人衛生會況

十二月一日午後一時より麴町區富士見町富士見倶樂

部に於て廿六年度の納會を開きたり來會者卅餘名第一席ドクトル伊澤信平君(歯に就て)の演説あり次に理學博士飯島魁君(人の体に住む蟲)と云へる演題にて條蟲の種類に付き實物を示して演説せられ午後五時頃散會せり

廣告

◉去る十一月五日秋季懇親會の節寄附せられたること左の如し

一金壹圓　佐々木よし子

去十二月中の入退會轉居左の如し

入會者

◉幹事中野悦子の紹介により

牛込區市ヶ谷佐土原町三丁目八番地　島崎とく子

芝區新門前町十番地　通常會員齋藤はる子

麹町區元園町一丁目七番地　通常會員板谷ことへ子

◉會員前川てる子の紹介により

群馬縣吾妻郡太田村大字植原　通常會員木下角子

◉事務所へ申込により

牛込區白銀町十九番地吉田方　賛成員名川德太郎君

◉會員植山充子の紹介により

日本赤十字社病院　原よし子

◉會員三宅ふじ子の紹介により

本鄉區上駒込村二百卅二番地　佐藤梅峯子

下谷區下根岸町四十四番地　佐藤らく子

退會者

菊岡さい子　高嶺專子

水町たつ子　小代石子

轉居

對馬國嚴原中村町卅八番戸小島類作方へ　森園子

京橋區木挽町九丁目卅三番地へ　岡田秀子

麴町區飯田町一丁目八番地へ　船曳みき子

大日本婦人衛生會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉調製食品萬折

水飴

	百分中
水	一五、三六四
含窒素物	〇、七八四
脂肪	〇、〇五三
デキストリン	三六、〇八八
砂糖	四七、九二〇
灰	〇、二三六

釀造品

味噌 からみそ

	百分中瓦ラム
水	四八、五四
蛋白質	一五、四二
無窒質物	一一、三六
細胞質	四、七二
脂肪	五、九四
灰	一四、〇二

醬油（ヤ印）

	五合中瓦ラム	百分中瓦ラム
水	七三六、一四	六七、四二
固形物	三五九、二	三二、五八
蛋白質	三七、九二六	三、四四
窒素アンモニヤ及「アミン」ノ形チナスモノ	一、八七四	〇、一七
デキストリン	一四、三三〇	一、三〇
砂糖	三〇、四三〇	二、七六
グリセリン	一一、八〇〇	一、〇七
醋酸	七、一六	〇、六五
灰	一九二、六〇七	一七、四七

酒 たいらん印

	五合中	百分中
水	七七四、四四	八五、一四
越幾斯物	二五、七四	二、八三
亞爾箇保兒	一〇九、一五	一二、〇〇
デキストリン	二、〇〇	〇、二二
葡萄糖	四、九二	〇、五四
グリセリン	八、五五	〇、九四
醋酸	〇、二三	〇、〇二五
灰	〇、九一	〇、一〇〇

味淋

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	五合中	百分中
水	五三二、二一	五一、三六
越幾斯物	三八五、一七	三七、一〇
亞爾箇保兒	一一九、三九	一一、五〇
グリセリン	〇、九三	〇、〇九
葡萄糖	三六七、五二	三五、四〇
醋酸	〇、四二	〇、〇四
灰	〇、九三	〇、〇九

酢

	五合中	百分中
水	八四八、四二	九二、三四五
越幾斯物	四〇、二三	四、三七九
醋酸	三〇、一〇	三、二七六
灰	二、三八	〇、二五九

札幌麥酒（ビール）

	四合中	百分中
水	八二四、七七三	八六、二二七
越幾斯物	五六、五五七	六、〇五〇
亞爾箇保兒	五〇、九四八	五、四五〇
デキストリン	三二、九九九	三、五三〇
グリセリン	二、二〇六	〇、二三六
炭酸	二、三七四	〇、二五四
乳酸	二、九九一	〇、三二〇
含窒素物	六、〇七三	〇、六六一
醋酸	〇、一七八	〇、〇一九
灰	二、八三〇	〇、三〇八

明治廿七年一月一日印刷
明治廿七年一月五日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中徳三郎
印刷者 神田區小柳町十三番地 小高良造
印刷所 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行

（定價金十錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN